

令和 6 年度
RESASを用いた秦野市の分析

秦野商工会議所

テーマ

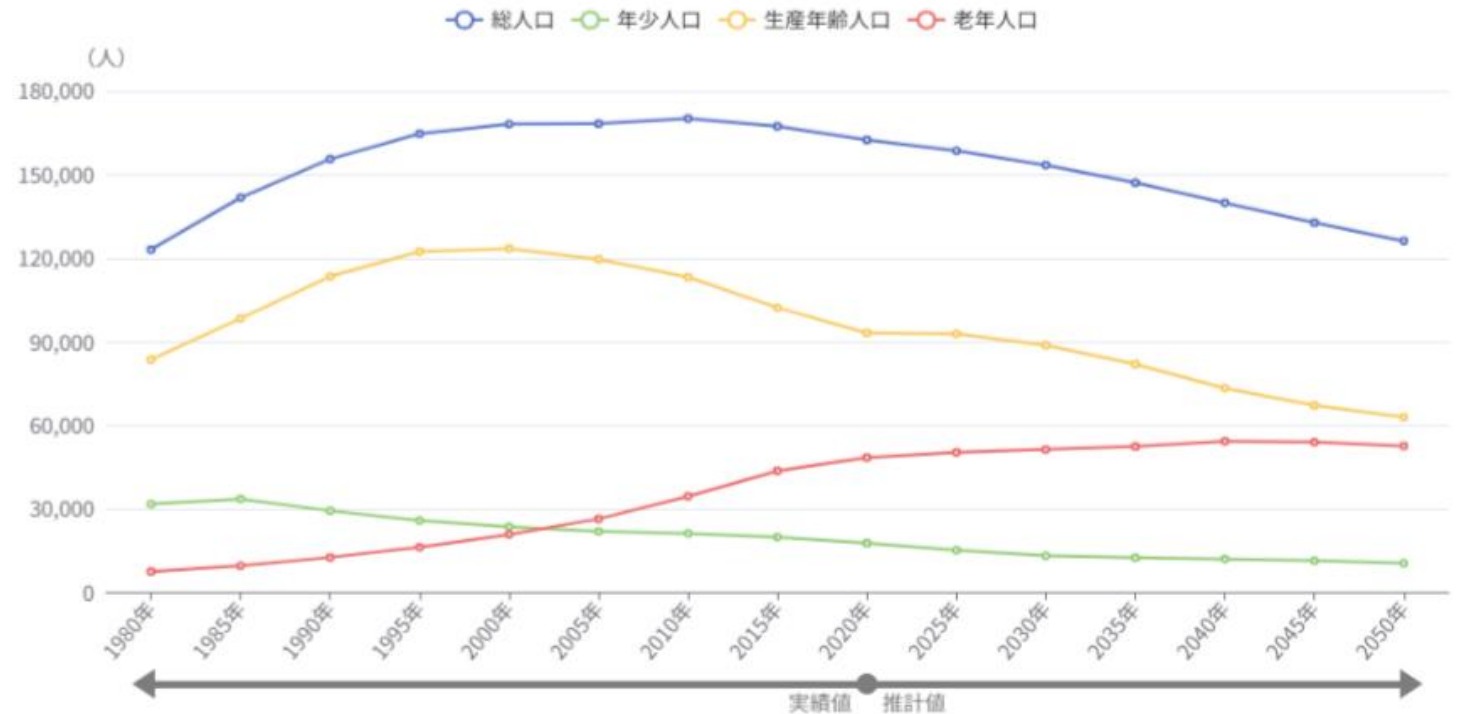
1. 人口
2. 産業構造
3. 小売業・卸売業
4. 製造業
5. 地域経済循環
6. まちづくり・観光

1. 人口

年齢別人口推移（1）

2020年の人口は162,439人。
10年前(2010年)の170,145人
と比較して僅かに減少している。
今後も人口の減少に伴って
総人口は減少となる見込み
である。

- ①年少人口は1985年以降緩やかに減少している。
- ②生産年齢人口は2000年以降減少。
- ③老年人口は2050年に総人口の4割を超え、総人口に占める老年人口の割合が増加する。



年少人口 …15歳未満の人口
生産年齢人口…15歳以上65歳未満の人口
老年人口 …65歳以上の人口

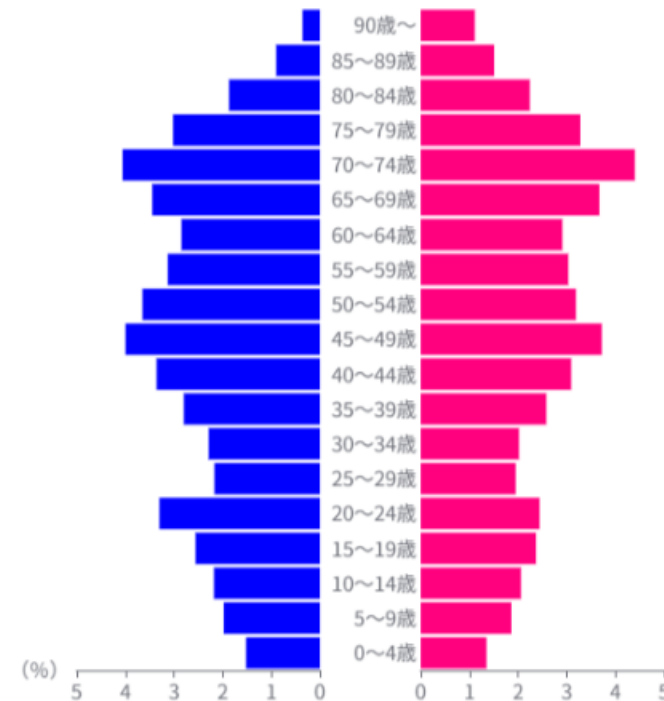
1. 人口

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。老年人口の割合をみると、2020年の30%から2050年には42%まで増加する。一方、生産年齢人口は2020年の57%から2050年には50%まで減少する見込みである。

2020年

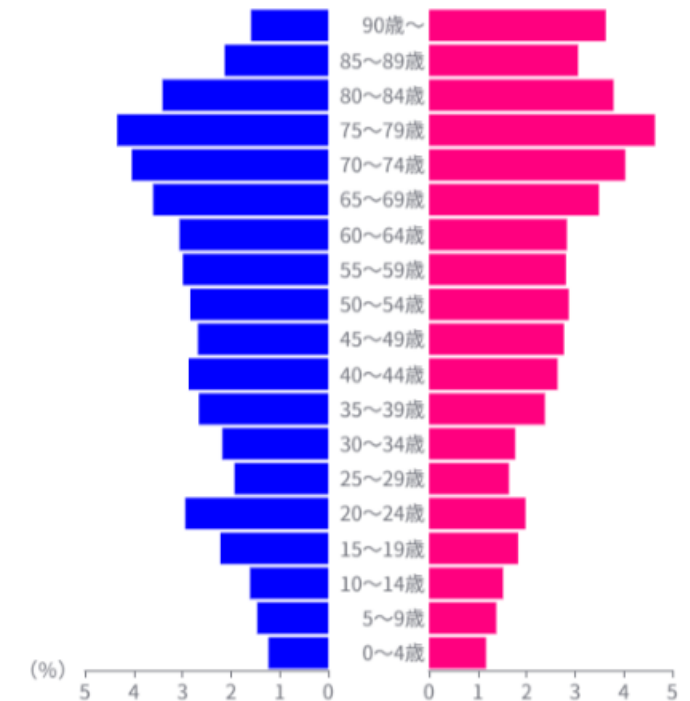
■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：48,518人（29.87%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：93,225人（57.39%）
年少人口（0歳～14歳）：17,797人（10.96%）

2050年

■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：52,687人（41.75%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：62,948人（49.88%）
年少人口（0歳～14歳）：10,566人（8.37%）

2. 産業構造

事業所数（事業所単位） 大分類

業種ごとの事業所数と割合である。
もっとも多いのは「卸売業,小売業」で939事業所（全体の21.6%）。
その後、「宿泊業,飲食サービス業」の529事業所、「医療,福祉」の468事業所が続く。

神奈川県秦野市

● 卸売業, 小売業 939事業所(21.6%)	● 教育, 学習支援業 179事業所(4.1%)
● 宿泊業, 飲食サービス業 529事業所(12.2%)	● 学術研究, 専門・技術サービス業 164事業所(3.8%)
● 医療, 福祉 468事業所(10.8%)	● 運輸業, 郵便業 76事業所(1.7%)
● 建設業 429事業所(9.9%)	● 金融業, 保険業 51事業所(1.2%)
● 生活関連サービス業, 娯楽業 428事業所(9.9%)	● 情報通信業 34事業所(0.8%)
● 製造業 383事業所(8.8%)	● 複合サービス事業 22事業所(0.5%)
● 不動産業, 物品賃貸業 375事業所(8.6%)	● 農業, 林業 14事業所(0.3%)
● サービス業（他に分類されないもの） 247事業所(5.7%)	● 電気・ガス・熱供給・水道業 5事業所(0.1%)

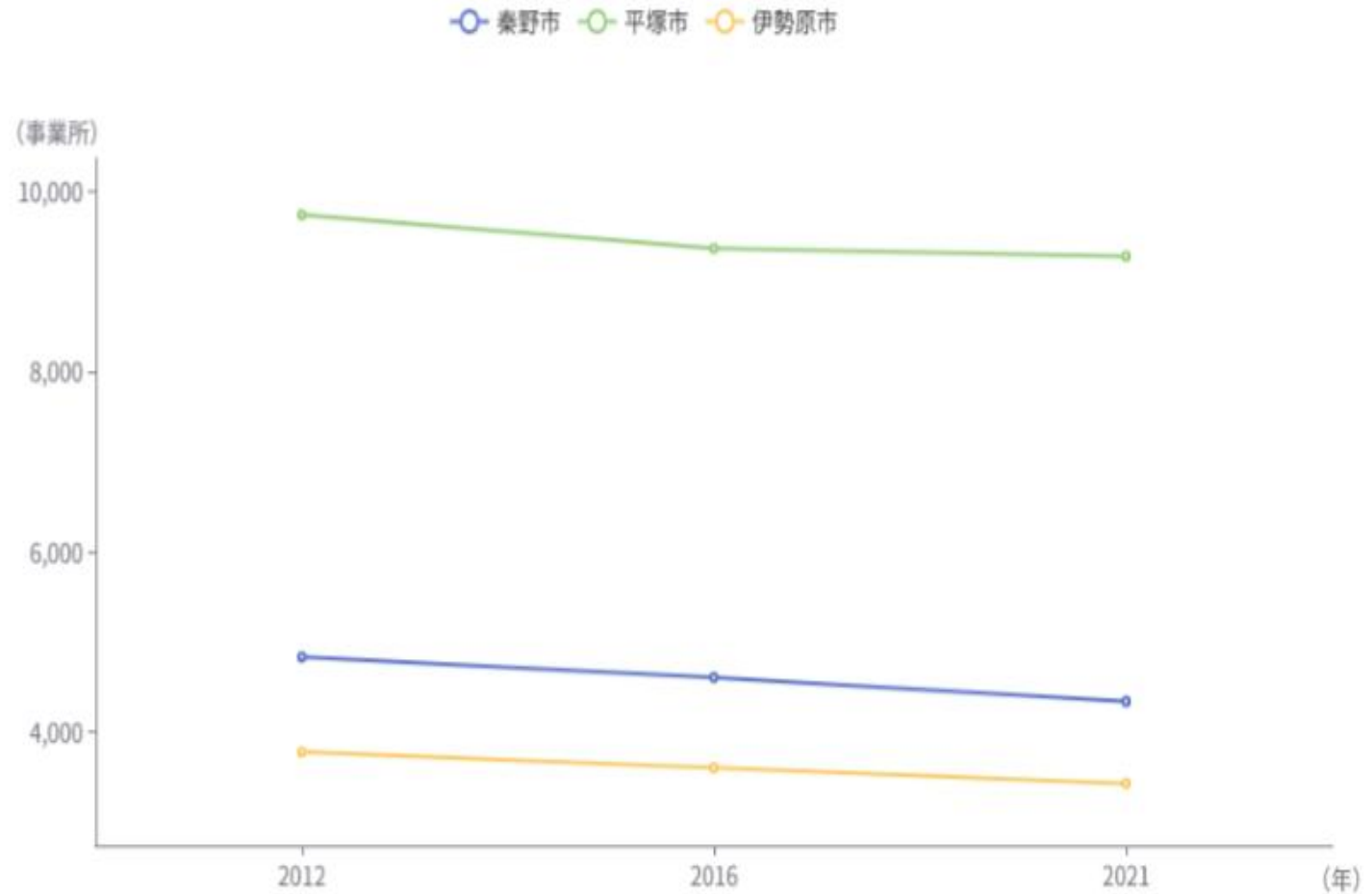
2. 産業構造

事業所数の推移

2021年の事業所数は4,343事業所。9年前の2012年と比較すると10.2ポイント減である。

他地域をみると、平塚市は5.2ポイント減、伊勢原市は9.2ポイント減となっている。

全国平均が5.4ポイント減であるため、秦野市は比較的減少幅が大きい。



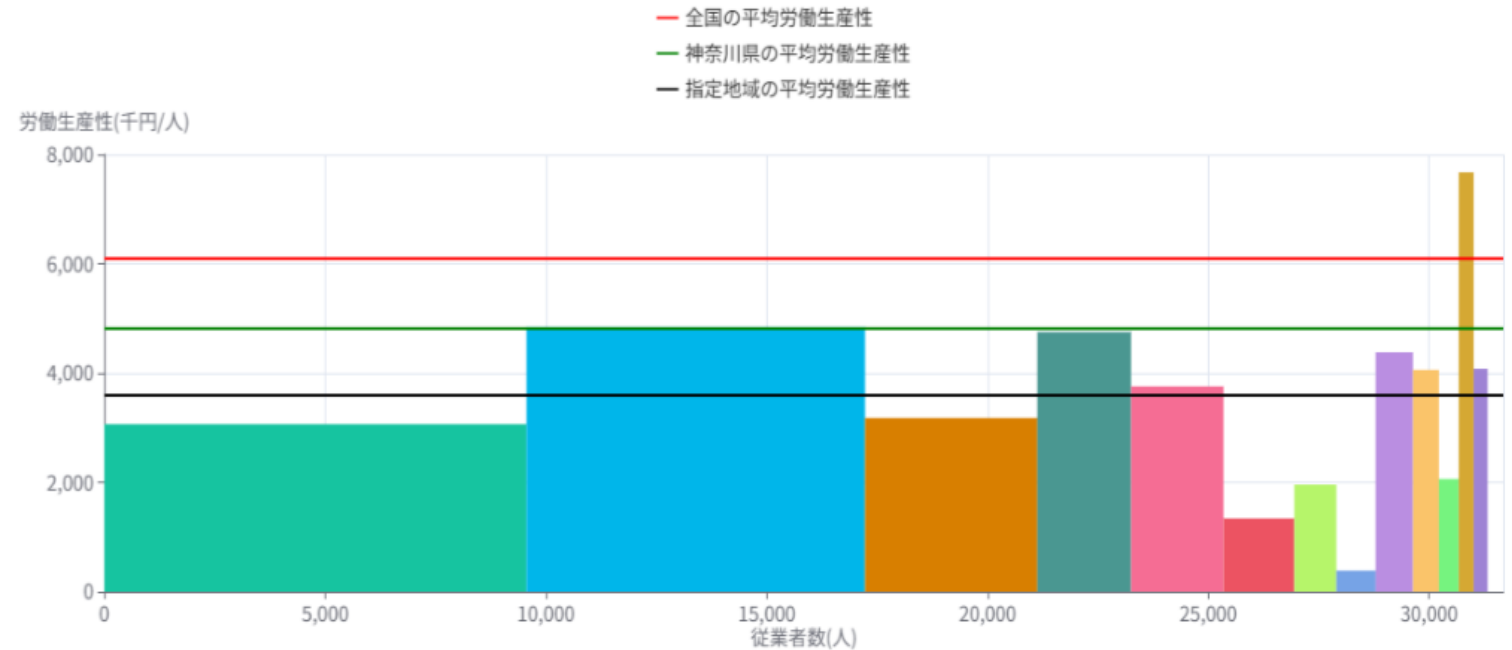
2. 産業構造

従業者数と労働生産性 (2021年)

業種ごとの従業者数と労働生産性を示したグラフである。

労働生産性が高い業種は「金融業、保険業」、「製造業」、「建設業」である。

また、従業者数は「医療、福祉」、「製造業」、「卸売業、小売業」が多い。



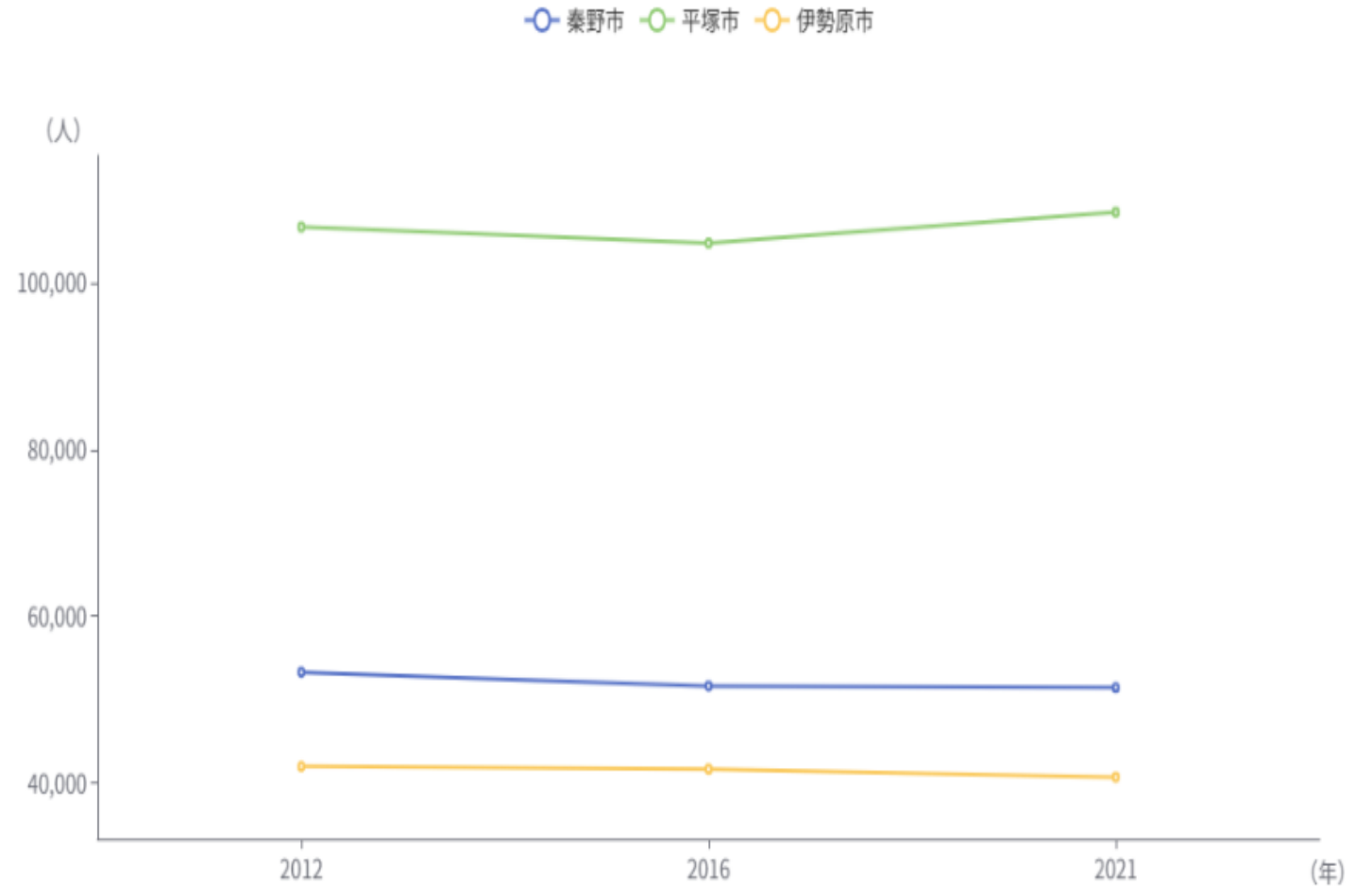
産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)	産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
医療、福祉	3,064	9,559	29,284	不動産業、物品賃貸業	384	890	342
製造業	4,847	7,667	37,163	学術研究、専門・技術サービス業	4,380	845	3,701
卸売業、小売業	3,179	3,901	12,400	運輸業、郵便業	4,060	586	2,379
建設業	4,752	2,123	10,089	教育、学習支援業	2,062	453	934
サービス業（他に分類されないもの）	3,758	2,096	7,876	金融業、保険業	7,674	337	2,586
宿泊業、飲食サービス業	1,341	1,603	2,149	その他	4,079	316	1,289
生活関連サービス業、娯楽業	1,958	952	1,864				

2. 産業構造

従業者数の推移

秦野市の2021年の従業者数は51,372人。9年前の2012年と比較すると3.5ポイント減である。

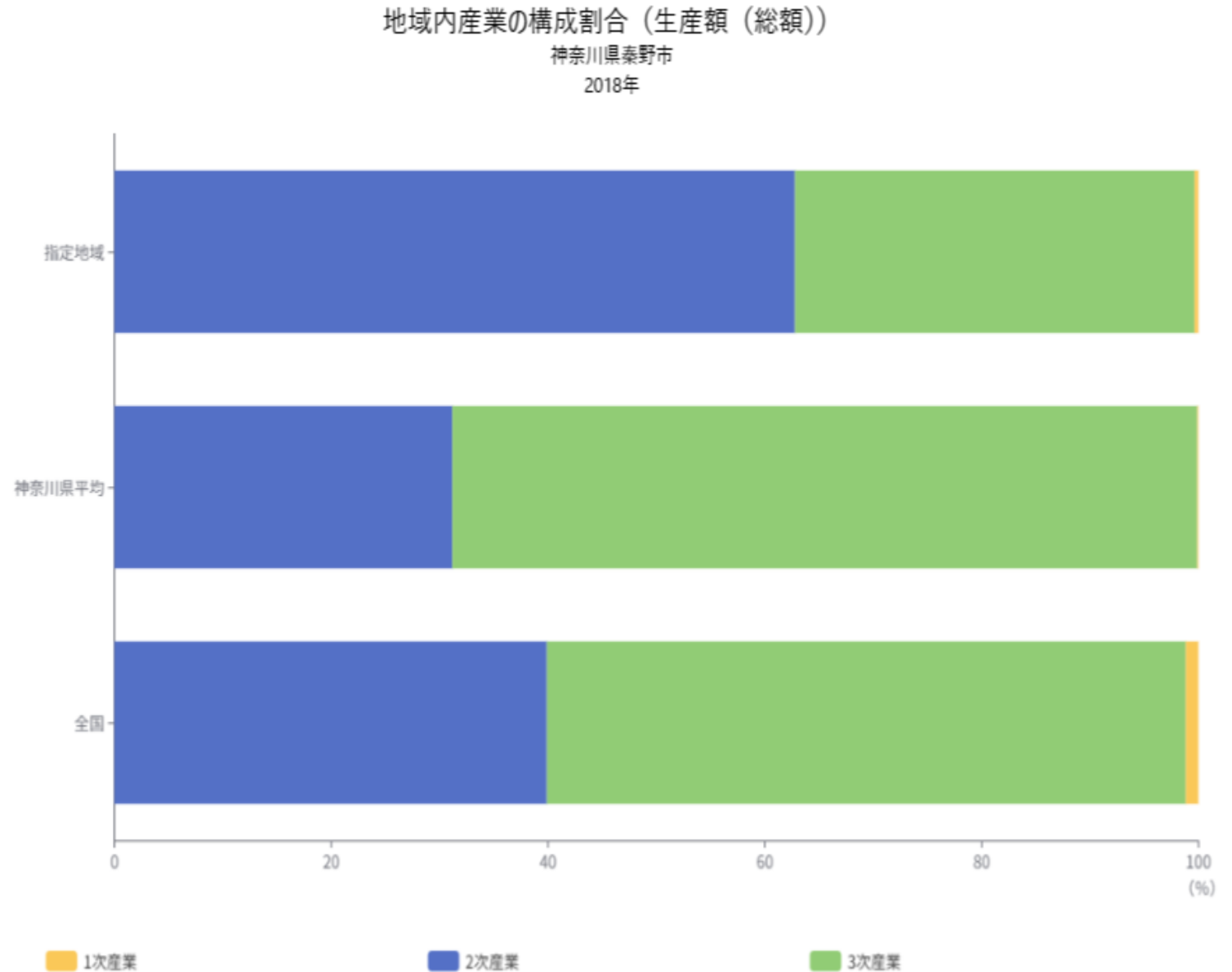
他地域をみると、平塚市は1.6ポイント増、伊勢原市は3.1ポイント減となっている。



2. 産業構造

地域内産業の構成割合

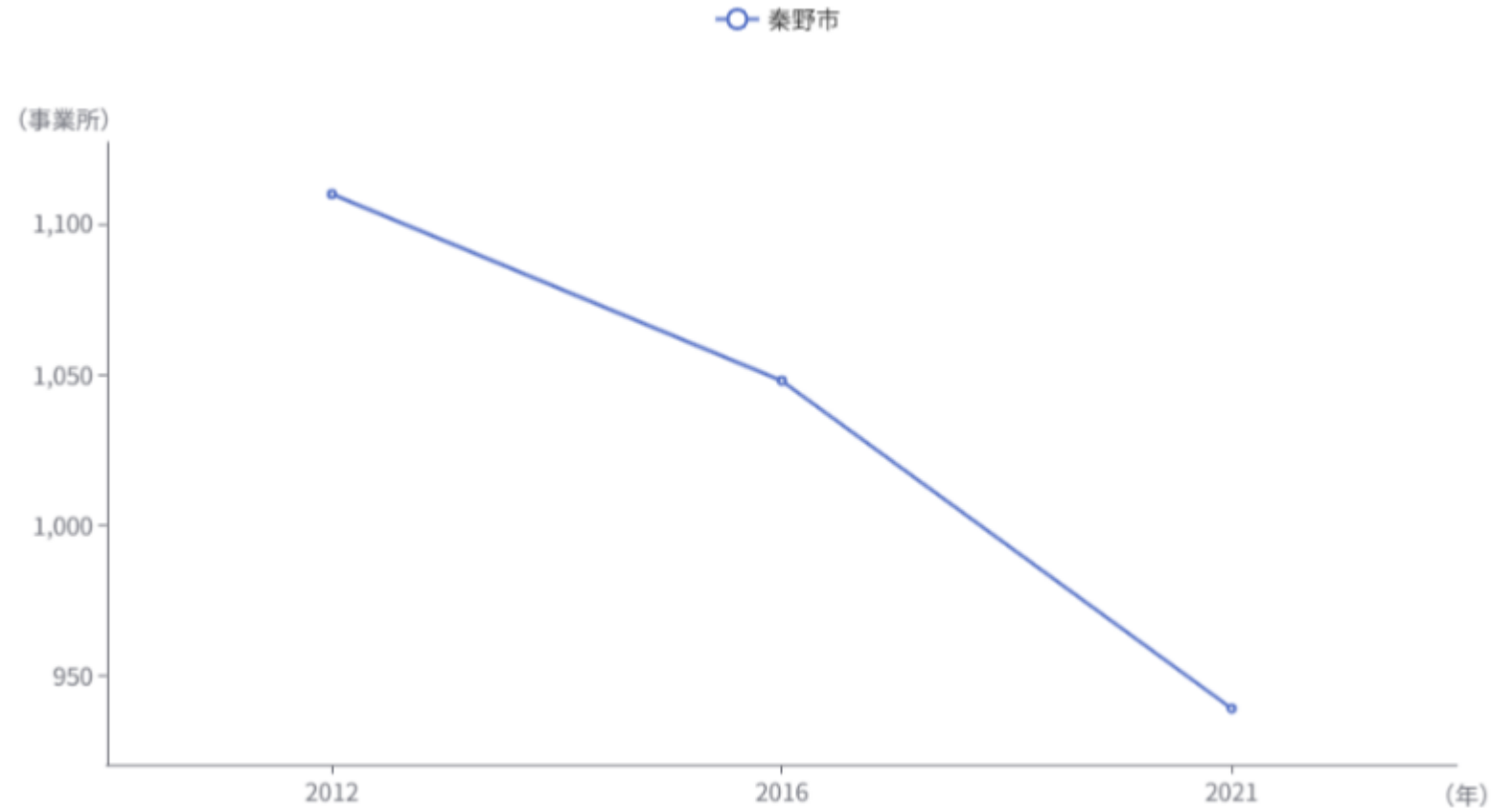
生産額でみた秦野市の産業の構成割合を全国および神奈川県と比較したグラフである。
秦野市は全国・神奈川県平均と比べて2次産業の割合が20%ほど高く、3次産業の割合は20%ほど低い。



3. 小売業・卸売業

事業所数の推移

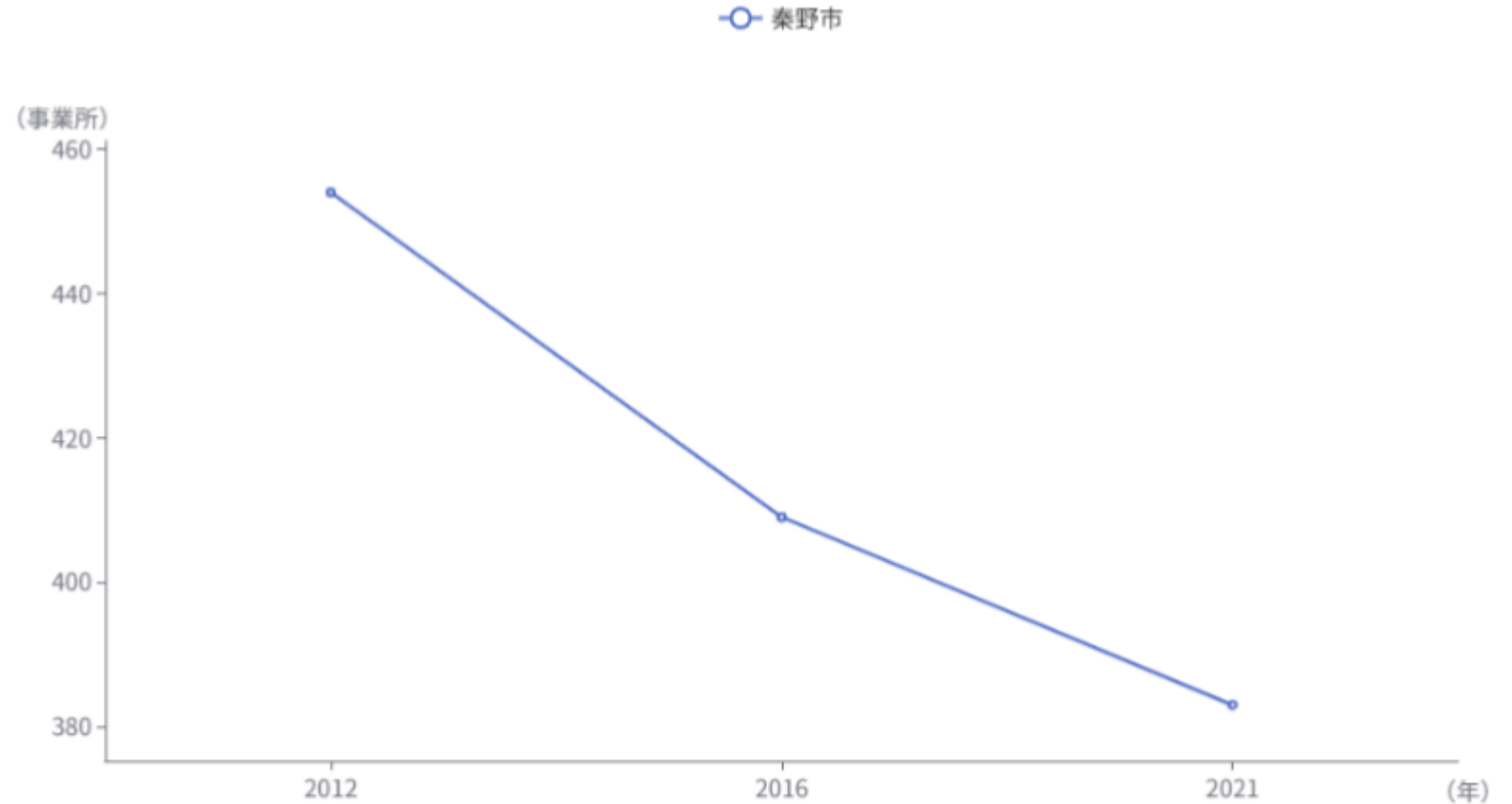
小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、939事業所。9年前の2012年と比較すると15.4ポイント減となっている。



4. 製造業

事業所数の推移

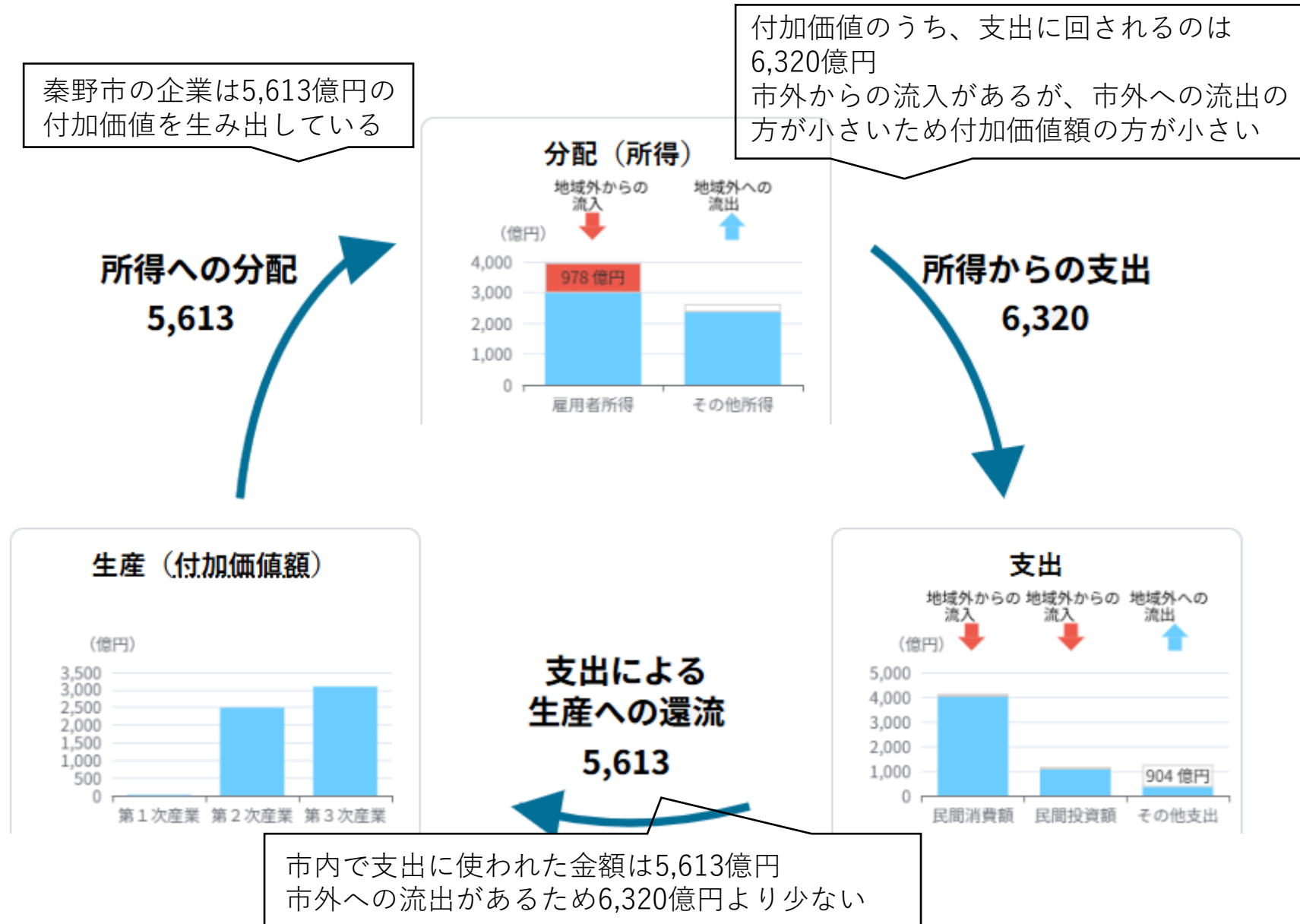
製造業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、383事業所。9年前の2012年と比較すると15.6ポイント減となっている。



5. 地域経済循環

地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や企業の所得として支出されて、再び地域内企業に還流する。
この流れを示したものが地域循環図である。



6.まちづくり・観光

秦野駅前滞留人口分析 (2024年)

秦野駅周辺250m内に滞在している人口について表したグラフである。
37.7%が60代以上、
85%が地元の人である。
時間別の推移としては、
19時頃に人が多いので市外等から帰宅する際に駅を利用していると思われる。

